

神奈川県 の 羊 歯 植 物
(5)

大 谷 茂*

Fern Flora of the Kanagawa Prefecture, Japan
(5)

Shigeru OHTANI*
(With 1 Plate)

I. 緒 言

この報告は本誌 15 号 (1969) につづくものである。

ここに発表したものは、オンダ科 (Aspidiaceae) のなかで、Stegnogramma (=Leptogramma), Thelypteris (subgenus Phegopteris を含む), Woodsia の 3 属, 5 亜属である。

この報告でオンダ科は全部終了した。

各々の種の分布資料は、著者の検し得た主要標本産地を原則としてあげた。また一部は著者の確認した自生地および信頼できる文献を引用した。

科・属・種の配列および学名は、行方・倉田共編の日本産シダ植物総目録によっているが、一部は最近発表された文献によって最も新しいものを採用した。

生活型 (Life form) および繁殖型 (Reproductive form) については、本報告 (1), 本誌 12 号 (1966) を参照していただきたい。

この報告をするにあたって、助言ならびに資料の提供など協力された大場秀章, 中池敏之, 守矢淳一, 小田原シダ研究会の会員および横須賀植物会の会員諸氏に深く謝意を表する。

II. 神奈川県産の種類とその分布

Classification and Distribution of the Pteridophyta Kanagawa Pref.

18. Aspidiaceae オンダ科

Stegnogramma Blume アミンダモドキ属

Sect. Leptogramma (J. Smith) K. Iwats. ミゾシダ節

(=Leptogramma J. Smith ミゾシダ属)

[198] *Stegnoeramma pozoi* (LAGASCA) K. IWATSUKI

* 横須賀市博物館, Yokosuka City Museum, Yokosuka, Japan.

Collections Examined:

TI, Department of Botany, Faculty of Science, University of Tokyo.

TOFO, Forest Botany, Faculty of Agriculture, University of Tokyo.

NSM, National Science Museum, Tokyo.

YCM, Yokosuka City Museum, Yokosuka.

MAK, MAKINO Herbarium, Tokyo Metropolitan University.

原稿受理 1970 年 1 月 31 日 横須賀市博物館業績 第 206 号

subsp. *mollissima* (FISCH. ex KUNZE) K. IWATSUKI ミゾシダ (?田中, 1871) (松村, 1884) H(d)D₁R₁

川崎, 登戸 (武蔵登戸附近植物目録, 1932)。

横浜: 南区弘明寺 (長谷川義人, 1955. 12. 16 外2点, YCM), 金沢区釜利谷 (長谷川義人, 1957. 6. 9, YCM)。

三浦: 横須賀, 田浦 (斎藤照一, 1959. 7. 10, YCM; 石渡宏, 1962. 4. 1), 同, 大楠山 (大谷茂, 1959. 11. 8, YCM; 1960 YCM), 同, 観音崎 (小板橋八千代, 1966. 1. 8 YCM)。

逗子, 神武寺 (府川勝蔵, 1933. 6. 18 Det. 牧野富太郎), 同 (大谷茂, 1956. 1. 2 外2点 YCM), 同, 沼間 (大谷茂, 1959. 11. 22 YCM)。

鎌倉 (石渡宏, 1960. 10. 9)。

大磯, 高麗山 (守矢淳一, 1952. 10. 12), 同 (逸見操, 1957. 8. 17 YCM)。

平塚市, 真土 (Shindo) (守矢淳一, 1956. 10. 8 YCM)。

厚木, 七沢 (Narasawa) (逸見操, 1957. 10. 20 YCM)。

丹沢: 札掛 (倉田悟, 1956), 西沢・用木沢・白石沢 (田代・飯田・西尾, 1958), 檜洞沢 (大場秀章, no. 10872, 1962. 8. 23 YCM)。

小田原, 各地 (小田原附近の羊歯植物目録, 1957. 9. 10)。

道了山, (守矢淳一, 1963. 11. 11)。

箱根: 湯本その他 (箱根植物, 1913), 早川上流・台岳・金時山・箱根神社・二子山 (小田原シダ研究グループ, 1957)。

山北, 洒水滝 (逸見操, 1958. 8. 24 YCM)。

足柄下郡, 真鶴 (守矢淳一, 1962. 11. 4)。

湯河原, 広河原 (大谷茂, 1961. 12. 26 YCM)。

本種は温帯から亜熱帯に広く分布するもので, 県内極めて普通に見られるシダである。

[199] *Stegnogramma pozoi* (LAGASCA) K. IWATSUKI

subsp. *mollissima* (FISCH. ex KUNZE) K. IWATSUKI

form. *Cristata* (NAKAI) K. IWATSUKI シンミゾシダ (中井, 1931) H(d)D₁R₁

小田原市, 早川 (青木正行, 1957)。

本品種は葉の先や羽片の先が尾化した一種の畸形シダであって稀に栽培されていることがある。

[200] *Stegnogramma pozoi* (LAGASCA) K. IWATSUKI

subsp. *mollissima* (FISCH. ex KUNZE) K. IWATSUKI

var. *pilosissima* (H. ITO) K. IWATSUKI アラゲミゾシダ (伊藤, 1935) H(d)D₁R₁

三浦: 横須賀市田浦 (斎藤照一, 1960. 7. 25 YCM), 逗子市神武寺 (倉田悟, 1959. 11. 3)。

本種のタイプは伊藤洋先生が1928年房州で採取されたもので, 葉裏に1.5mm くらいの長い毛が多い一型である。学者によっては品種とされているものである。

Thelypteris Schmidel ヒメシダ属

(A) subgen. *Phegopteris* (Presl) Ching ミヤマワラビ亜属

[201] *Thelypteris bukoensis* (TAGAWA) CHING タチヒメワラビ (田川, 1932) H(d)D₁R₁

丹沢山塊, 不動ヶ峰 (倉田 悟, 1956)

本種は亜高山帯から温帯にかけて分布するシダで陸中, 岩代, 上野, 下野, 武蔵, 相模, 甲斐, 信濃, 飛騨, 越中など本州の中北部に知られている。

本報告 (209) オオバショリマの項で記載したように, 西田 誠・栗田子郎・大場秀章の三氏は 1962 年丹沢調査の報告において, 亜高山的またはブナ帯以上に生育する寒地性シダとして本種をあげている。

本県内で丹沢山塊以外のところでは著者は確認していない。

[202] *Thelypteris decursive-pinnata* (van HALL) CHING ゲジゲジシダ (田中, 1871) Ch(d)D₁R₃

川崎, 登戸 (武蔵登戸附近植物目録, 1932)。

横浜市金沢区朝比奈峠 (山田昌代, 1967. 8. 17, Det. 大谷 茂, 1967. 10. 8)。

三浦: 横須賀市猿島 (大谷 茂, 1948. 10. 10 YCM), 池上 (Ikegami) (小板橋八千代, 1966, 6. 7 YCM), 武山 (Takeyama) (石渡裕之, 1967. 8. 24)。

逗子市神武寺 (M. HONDA, 1924. 12. 23 TI), 同 (大谷 茂, 1959. 9. 24 YCM)。

鎌倉: 本郷 (府川勝蔵, 1933. 7. 9), 鎌倉 (榎山泰一, no. 473, 1933. 9 TI)。

大磯, 高麗山 (守矢淳一, 1956. 12. 2)。

平塚市真土 (Shindo) (守矢淳一, 1956. 10. 8 YCM)。

厚木市: Narasawa, west of Atsugi-City, alt. ca. 100 m (H. ŌHASHI, 1968. 10. 22 TI)。

愛甲郡愛川町塩川滝 (逸見 操, 1956. 6. 26 YCM), 同郡清川村 (逸見 操, 1956. 10. 10 YCM)。

丹沢: 札掛 (倉田 悟, 1956), 西沢・用木沢・白石沢 (田代・飯田・西尾, 1958), 塔ヶ岳～ユーンシン～檜洞沢 (大場秀章, no. 10891, 1962. 8. 23 YCM), ユーンシン (大場秀章, no. 10896, 1962. 8. 23 TI), ユーンシン～玄倉 (大場秀章, no. 10922, 1962. 8. 24 YCM)。

山北洒水滝 (遠藤将光, 1957. 10. 20 YCM), 同 (逸見 操, 1958. 8. 24 YCM)。

小田原, 各地 (小田原附近の羊歯植物目録, 1957. 6. 10)。

箱根: 湯本その他 (箱根植物, 1913), 早川上流・台岳・二子山・金時山 (小田原シダ研究グループ, 1957), 上湯 (守矢淳一, 1965. 8. 13)。

本種は暖帯の山野に広く分布するシダで, 本県においても上記標本産地以外各地に普通見られるものである。

[203] *Thelypteris phegopteris* (LINN.) SLOSSON ex RYDB.

(=*Phegopteris polypodioides* FÉE) ミヤマワラビ (松村, 1884) H(d)D₁R₁

丹沢: 札掛 (倉田 悟, 1956), 塔ヶ岳 (大谷 茂, 1959. 7. 29 YCM), 檜洞丸 (飯田 和, 1957. 8. 1 YCM), 用木沢 (田代・飯田・西尾, 1958. 8. 19), そのほか丹沢山, 蛭ヶ岳, 長尾尾根, 原小屋, 世附などに報告がある。また (209) (213) で述べたように, 1962 年西田誠外 2 氏の丹沢山塊シダ植物調査において, 亜高山的, またはブナ帯以上に生育する寒地性シダとして本種を

報告している。

箱根：神山 (Kamiyama) (守矢淳一, 1953. 5. 26), 同 (小田原附近の羊歯植物目録, 1957. 6. 10), 上双子 (守矢淳一, 1963. 7. 27)。

本種は北半球の亜寒帯 (亜高山帯～温帯上部) に広く分布するシダである。

屋久島花ノ江河で秋沢明氏が 1935 年 (昭和 10) 採取されているが、著者は屋久島で一度も見ることがない。

(B) subgen. *Cyclogramma* (Tagawa) K. Iwats. オオミゾシダ亜属

[付記] *Thelypteris omeiensis* (BAK.) CHING ミゾシダモドキ (児玉, 1914) H(e)D₁R₂

本種は、かつて日本シダの会々報、最新府県別日本シダ植物略目録、神奈川県に著者が発表 (1965) した際、はっきり確認もしないで記載したものであるが、どうも誤りであるということがわかったので、本報告から除くことにした。

この種は暖帯溪側の多湿の岩壁に生ずるもので、隣接地、伊豆・駿河・遠江・安房に分布しているのに本県には不思議にもこれを確認することができない。

このシダのタイプは中国四川省の峨眉山産であるが、日本で始めて採取されたのは、児玉親輔氏で、実に 1910 年、伊豆浄蓮滝であった。

(C) subgen. *Thelypteris* ヒメシダ亜属

[204] *Thelypteris glanduligera* (KUNZE) CHING ハシゴシダ (松村, 1884) H(e)D₁R₁

横浜：鶴見区三ツ池 (大谷 茂・府川勝蔵, 1934. 10, Det. 伊藤 洋); (大谷 茂, 1935. 11. 9 YCM), 保土ヶ谷区帷子川流域 (出口長男, 1952. 8. 9 YCM), 南区弘明寺 (長谷川義人, 1955. 12. 16 YCM)。

三浦：横須賀市、馬堀、横須賀市博物館馬堀自然教育園 (大谷 茂, 1954. 12. 7 YCM)。逗子市、神武寺 (大谷 茂, 1953. 7. 28, 外 1955, 1959 の 2 点 YCM); 桜山 (大谷 茂, 1953. 7. 23, 外に 1954, 1956 の 3 点 YCM); 桜山～小古瀬 (大谷 茂, 1953. 5. 17 YCM); 桜山～長柄 (大谷 茂, 1954. 12. 2, 外 1 点 YCM)。

三崎：諸磯 (大谷 茂, 1956. 6. 10 YCM); 油壺 (石渡 宏, 1960. 9. 18)。

鎌倉 (靱山泰一, no. 461, 1928. 8. 21 TI)。

平塚市、上吉沢 (Kami-Kisawa) (守矢淳一, 1969. 5. 4, 稀産, YCM)。

大磯、高麗山 (守矢淳一, 1950. 11. 20; 1966. 8. 6)。

足柄下郡中井村・橘町山西 (西尾和子, 1957. 10. 9)。

箱根 (? , 1881. 7. 23 TI), 芦ノ湯 (小田原附近の羊歯植物目録, 1957)。

小田原：入生田 (小田原附近の羊歯植物目録, , 1957), 小田原、風祭 (箱根植物, 1913)。

真鶴 (M. HONDA, 1929. 12. 28 TI); (久内清孝, 1929. 12. 29 TI; 1930. 1. 19 TI); (靱山泰一, no. 15, 1930. 2. 23 TI); (T. NAKAI, 1930. 2. 23 TI)。

湯河原 (箱根植物, 1913)。

本種は暖地性のシダで暖帯の林下、やや乾燥したところに生ずるシダである。

[205] *Thelypteris glanduligera* (KUNZE) CHINGvar. *elatior* (EAT.) KURATA コハンゴシダ (牧野・緒方, 1929) H(e)D₁R₁

横浜: 富岡・柴町・上川井・下川井 (出口長男, 横浜植物誌, 1968)。

三浦: 横須賀市, 馬堀, 横須賀市博物館附属馬堀自然教育園 (大谷 茂, 1954. 12. 7 YCM).
逗子市桜山, 長柄入口より上る杉林内 (大谷 茂, 1953. 9. 5 YCM). 葉山町, 長柄 (大谷 茂, 1955. 11. 6 YCM)。

大磯, 高麗山 (守矢淳一, 1965. 11. 28 YCM; 同, 1966. 8. 6)。

二宮 (小田原附近の羊歯植物, 1957. 6. 10)。

真鶴 (同上)。

本種はハンゴシダと同じ生態のシダであるが, ハンゴシダよりも一層暖地性である。二宮, 風祭, 真鶴, 湯河原などに報告があるが, ここには標本産地のみをあげた。

コハンゴシダの一つの特徴は, 羽片の基部上側1裂片が独立していることである。

ソーラスも馬蹄形, 鈎形, ときには半月形のものが見られてメンダ状を呈することも特徴である。

[206] *Thelypteris japonica* (BAK.) CHING ハリガネワラビ (松村, 1886) H(d)D₁R₁

川崎, 登戸 (帝国女子医業専門学校, 現東邦大学, 薬学科第2回卒業生, 1932)。

横浜: 鶴見区三ツ池 (府川勝蔵, 1934. 10 Det. 伊藤 洋), 同 (大谷 茂, 1935. 11. 9), 港北区新羽 (Nippa) (大谷 茂, 1955. 8. 7 YCM), 神奈川区三ツ沢 (久内清孝, 1913), 南区日野~平戸 (長谷川義人, 1956. 8. 5 YCM), 同区野庭 (長谷川義人, 1956. 9. 6 YCM), 保土ヶ谷区帷子川流域, 下川井 (出口長男, 1952. 8. 9 YCM), 同, 上川井 (村上司郎, 1964. 11. 28), 戸塚区戸塚 (村上司郎, 1963. 8. 11)。

三浦: 逗子桜山 (山田友久, 1951. 8. 18 YCM; 大谷 茂, 1954. 10. 26 YCM; 同, 1955・1956の2点 YCM)。

藤沢市亀井野 (桑田健吾, 1962. 6. 10 YCM)。

平塚市豊田 (Toyoda) (守矢淳一, 1956. 10. 14, 稀, YCM)。

大山, 頂上裏 (田代信二・飯田 和・西尾和子, 1957)。

丹沢: 札掛 (倉田 悟, 1956), 中津溪谷 (逸見 操, 1957. 11. 3 YCM), 西沢 (田代・飯田・西尾, 1958. 8. 18), ヤビツ峠~札掛 (大場秀章, no. 10780, 1962. 8. 21 YCM), 塔ヶ岳~ユーション~檜洞沢 (大場秀章, no. 10890, 1962. 8. 23 YCM)。

道了山 (箱根植物, 1913)。

足柄下郡橋町山西 (田代信二, 1957. 11. 1)。

小田原旧城址 (伊藤和貴, 1913, 箱根植物による), 小田原各地 (小田原附近の羊歯植物目録, 1957)。

箱根: 箱根 (? , 1881. 7. 23 TI), 同 (? , 1883. 8. 12 TI), 同 (T. YAMAZAKI, 1946. 9. 24 TI), 小涌谷 (箱根植物, 1913), 湯ノ花沢~神山 (伊藤和貴, 1913, 箱根植物による), 早川上流・台岳 (小田原シダ研究グループ, 1957), 神山 (守矢淳一, 1963. 7. 24), 宮城野 (石渡 宏・西山清治, 1965. 5. 7. 27, 西山氏標本 YCM), 芦ノ湖畔, カントリー~白浜側 (渡辺次雄, 1966. 10. 26 YCM)。

湯河原 (田代・飯田・西尾, 1957), 同, 泉側 (石渡 宏, 1961. 12. 10)。

本種は温帯から暖帯の林下に多いシダである。この種は葉柄から葉軸まで黒紫色から赤褐色を呈するが、湿地の疎林などに生ずるものなかには、葉柄、葉軸の白っぽい藁色のものがある。このようなものをアオハリガネワラビ (牧野, 1933), シロジクハリガネワラビ (杉本, 1966) と呼ばれて, form. *viridescens* (MAKINO) H. ITO とハリガネワラビの一品種にされている。しかし、葉柄・葉軸の色以外はハリガネワラビとあまりかわらないので、ここでは区別しなかった。

〔207〕 *Thelypteris japonica* (BAK.) CHING

var. *glabrata* CHING イワハリガネワラビ (檜山, 1951) H(d)D₁R₁

横浜市保土ヶ谷区下川井 (斎藤照一, 1960. 8. 5 CYM), 上川井・下川井・二ツ橋・東希望ヶ丘・上白根・川島 (出口長男, 横浜植物誌, 1968)。

三浦: 横須賀市田浦 (斎藤照一, 1960. 7. 25 横須賀新産, YCM), 逗子市神武寺池子参道 (大谷 茂, 1956. 7. 26 逗子新産, YCM)。

箱根: Hakone (T. YAMAZAKI, 1946. 9. 24 TI), 双子山 (倉田 悟・松浦・松島・朝倉, 1952), 同 (小田原シダ研究グループ, 1957. 8. 18)。

本種は温帯の林下で岩地に生ずるシダである。葉柄や葉軸は白わら色でアオハリガネワラビに似るが、全体に毛なく、特に包膜がほとんど無毛の点でアオハリガネワラビとは異なるものである。ハリガネワラビもアオハリガネワラビもともに全株に毛が多く、包膜も有毛である。

本種は檜山庫三氏が 1948 年に武蔵棒折山で採取されたのが最初である。

〔208〕 *Thelypteris laxa* (FRANCH. et SAV.) CHING ヤワランダ (松村, 1886) H(d)D₁R₁

横浜: 鶴見三ツ池 (大谷 茂, 1935. 11. 9), 同 (久保田金蔵, 1940. 8. 25 府川勝蔵氏所蔵), 保土ヶ谷区帷子川流域上川井・上白根 (出口長男, 1952. 11. 16 YCM, 上川井産), 上川井 (村上 司郎, 1964. 11. 28 YCM), 川島 (出口長男, 横浜植物誌, 1968, スギ・ヒノキ林下にやや多い)。

三浦: 逗子桜山 (大谷 茂, 1957. 7. 30 YCM)。

丹沢 (村上 司郎, 1953. 8. 17)。

箱根: 早川上流, 台岳 (小田原シダ研究グループ, 1957), 箱根上湯 (守矢淳一, 1965. 8. 13)。

奥湯河原 (田代信二・飯田 和・西尾和子, 1957), 同 (飯田 和, 1958. 8. 4 YCM), 伊豆湯河原, 泉 (田代・飯田・西尾, 1957), 同 (石渡 宏, 1961. 12. 10)。

本種は暖帯の林下に生ずるシダである。このシダは Savatier が横須賀附近で採取したものをもとにして Franchet が研究し、両氏の共著日本植物総目録において、はじめて発表したもので (*Aspidium laxum* FRANCH. et SAV., 1879 記載番号 2429), 横須賀がその Type locality である。しかし、横須賀では現在のところ確認できない。

本種の羽片裂片の小脈の先端は縁辺に達しない。ハリガネワラビやハシゴシダは縁辺に達する。

〔209〕 *Thelypteris palustris* SCHOTT ヒメシダ (松村, 1884) (ショリマ, 田中, 1871) H(d)D₁R₁

川崎, 登戸 (帝国女子医薬専門学校, 現・東邦大学, 薬学科第 2 回卒業生, 1932)。

横浜：保土ヶ谷区二俣川（府川勝蔵，1933. 9. 24），同区帷子川流域（出口長男，1952），同区下川井（斎藤照一，1960. 8. 5 YCM），同区上白根（斎藤照一，1960. 8. 5 YCM）。

金沢区六浦（村上司郎，1954. 6. 13）。

戸塚区戸塚（村上司郎，1963. 8）。

三浦：横須賀市，伊勢町（Isemachi）貯水地附近（大谷 茂，1948. 9. 23 YCM；同，1951. 7. 10 YCM；山田友久，1953. 9. 20 YCM），同市馬堀水道路（大谷 茂，1954. 5. 10 YCM），同市武（Take）の路傍（小板橋八千代，1967. 6. 28 YCM）。

三浦郡葉山町双子の谷（榎山泰一，no. 216，1928. 9. 27 TI）。

藤沢市亀井野（大谷 茂，1962. 6. 15 YCM）。

平塚市土屋惣領分（守矢淳一，1969. 10. 19，稀 YCM）。

箱根：元箱根（箱根植物，1913），芦ノ湖辺（伊藤和貴，1913，箱根植物），早川上流・台岳（小田原シダ研究グループ，1957），仙石原（小田原附近の羊歯植物目録，1957），同（守矢淳一，1965. 8. 13）。

小田原，水ノ尾（小田原附近の羊歯植物目録，1957. 6. 10）。

伊豆湯河原，泉（脇田罔輝，1958）。

本種は世界の温帯から亜寒帯にかけて，広く分布するシダで，本県においても湿地や湿原に多く見ることができる。

大山，丹沢，小田原の水ノ尾や風祭その他の地方にも報告されているが，ここには上記標本産地をあげるにとどめた。

[210] *Thelypteris quelpaertensis* (CHRIST) CHING オオバシヨリマ（松村，1886）H(d)D₁R₂

丹沢山塊，丹沢山～蛭ヶ岳～原小屋（林 弥栄，外3氏，1961）

本種は亜高山帯（高山帯下部から温帯上部にかけて）に分布するシダである。文献産地として丹沢をあげたが，さらに1962年，西田誠・栗田子郎・大場秀章の3氏が丹沢山塊のシダ植物調査において，その分布と生態のなかで，亜高山的，またはブナ帯以上に生育する寒地性シダとして，オオバシヨリマ，ミヤマワラビ，タチヒメワラビなどをあげている。本館にその標本が1点もないので，ここには文献産地のみをあげた。

本種のタイプは1904年 Faurie が濟州島で採ったものであり，日本で始めて採取したのは石川貞治氏であって1933年北海道羊蹄山である。アイヌ語でシダ類のことをシヨリマという。

[211] *Thelypteris torresiana* (GAUD) ALSTON

var. *calvata* (BAKER) K. IWATSUKI

(= *T. oligophlebia* (BAK.) CHING var. *elegans* (KOIDZ.) CHING) ヒメワラビ（松村，1884）H(d)D₁R₂

川崎，登戸（武蔵登戸附近植物目録，1932）。

横浜：南区野庭（長谷川義人，1956. 9. 6 YCM），金沢区釜利谷（長谷川義人，1957. 8. 4 YCM）。

三浦：横須賀市田浦温泉谷戸（大谷 茂，1959. 10. 23 YCM；同，1962. 6. 24 YCM），田浦

(石渡 宏, 1963. 2. 17), 武 (Take) (小板橋八千代, 1967. 6. 28 YCM), 大楠山 (大谷 茂, 1959. 11. 8 YCM)。

逗子市神武寺の山 (T. NAKAI, 1931. 6. 14 TI), 神武寺 (I. FURUSAWA, 1938. 10 TI), 同 (大谷 茂, 1959. 9. 24 YCM)。

葉山町二子山 (大谷 茂, 1949. 9. 25 YCM; 同, 1954. 7. 14 YCM), 二子の谷 (石渡 宏, 1965. 4. 25)。

鎌倉: 鎌倉 (S. TAMAKI—[?]玉木請一, 1912. 8. 12 TI), 本郷 (府川勝蔵, 1933. 7. 9), 円覚寺 (大谷 茂, 1954. 7. 22 YCM), 天園 (大谷 茂, 1960. 12. 18 YCM; 石渡 宏, 1960. 10. 23)。

平塚市高根 (Takane) (守矢淳一, 1959. 8. 25 YCM, 外各地)。

大磯, 高麗山 (守矢淳一, 1956. 8. 31)。

丹沢: 札掛 (倉田 悟, 1956; 大谷 茂, 1958. 8. 4 YCM; 逸見 操, 1966. 8. 6 YCM), 中津溪谷 (逸見 操, 1956. 8. 16 YCM), 西沢・用木沢・白石沢 (田代・飯田・西尾, 1958), 山神 (Sanjin) (大谷 茂, 1961. 8. 27 YCM), 塔ヶ岳~ユースン~檜洞沢 (大場秀章, no. 10868, 1962. 8. 23 YCM)。

山北: 相模山北 (伊藤 洋, 1930 TI), 洒水ノ滝 (遠藤将光, 1957. 10. 20 YCM; 逸見 操, 1958. 8. 24 YCM)。

小田原, 各地 (小田原附近の羊歯植物目録, 1957. 6. 10)。

箱根: 箱根 (? , 1881. 7. 23 TI), 湯本その他 (箱根植物, 1913), 早川上流・台岳・二子山・金時山 (小田原シダ研究グループ, 1957)。

湯河原 (長谷川義人, 1951. 6. 3 YCM)。

ヒメワラビは温帯と暖帯の山野の林縁または疎林内などに広く分布するシダである。var. *elegans* のタイプは木村有香氏が 1920 年に九州鹿児島で採取したものである。ヒメワラビには単細胞の短毛が散生するが、中国や朝鮮ならびに日本では本州西部に稀に見るものでは、ほとんど無毛で、これをトウヒメワラビ var. *calvata* と区別されていたが、ここではトウヒメワラビはヒメワラビと同一のものであるという考え方を採用し、ヒメワラビはアラゲヒメワラビの変種としてあらわした。

[212] *Thelypteris torresiana* (GAUD) ALSTON

var. *calvata* (BAKER) K. IWATSUKI

form. *lophaea* (OGATA) K. IWATSUKI ヨウラクヒメワラビ (緒方, 1933) H(d)D₁R₃

横浜市保土ヶ谷区上川井 (出口長男, 1968)。

本種を出口長男氏は上川井の杉林下に 6 株を発見され、そのうち 2 株を植栽保護されていることを報じている。

このシダは羽片の先が尾化した一種の畸形品である。

[213] *Thelypteris torresiana* (GAUD) ALSTON

var. *subtripinnata* (TAGAWA) K. IWATSUKI

(=*Thelypteris viridifrons* TAGAWA) ミドリヒメワラビ (田川, 1933) H(d)D₁R₃

横浜: 保土ヶ谷区上川井 (村上司郎, 1964. 11. 28), 戸塚 (村上司郎, 1965. 8. 3)。

三浦：横須賀市田浦温泉谷戸（大谷 茂，1962. 6. 24 YCM），田浦（石渡 宏，1963. 1. 6），衣笠（Kinugasa）（大谷 茂，1963. 7. 23 YCM），池上（Ikegami）（小板橋八千代，1966. 6. 7 YCM），平作（Hirasaku）（小板橋，1966. 7. 7 YCM）。

逗子市神武寺（I. FURUSAWA, 1937. 4 TI），同（大谷 茂，1958. 10. 15 YCM），同（倉田 悟，1959. 11. 3）。

平塚市上吉沢（Kami-kisawa）（守矢淳一，1965. 8. 4 YCM）。

大磯高麗山（守矢淳一，1965. 9. 20 YCM）。

道了山（守矢淳一，1963. 11. 11）。

足柄下郡橋町上町（田代信二・西尾和子，1957. 10. 18）。

津久井郡津久井町根小屋（吉川代之助，1965. 9. 19），同郡城山町畑久保（守矢淳一，1967. 8. 2 YCM）。

箱根早川上流（小田原シダ研究グループ，1957. 8. 16）。

奥湯河原（田代信二・飯田 和・西尾和子，1957）。

本種は小羽片にも短小柄があるのが特徴である。小羽片と裂片がヒメワラビより疎につくので全体が何となくパラッとした感じである。また腊葉にすると黒緑色となる傾向がある。

(D) Subgen. *Glaphyropteridopsis* (Ching) K. Iwats. タイヨウシダ亜属

[214] *Thelypteris esquirolii* (CHRIST) CHING

var. *glabrata* (CHRIST) K. IWATSUKI

(=*Thelypteris subochthodes* CHING) イブキシダ（松村，1886）H(e)D₁R₂

箱根：産地？，（箱根植物，1913），箱根（石渡 宏，1963. 12. 29）。

小田原，入生田（朝倉修一，1953），入生田・風祭（小田原附近の羊歯植物目録，1957. 6. 10）。

足柄下郡，吉浜（染野邦夫，1957. 12. 5 YCM；（田代信二・飯田 和・西尾和子，1957）。

本種は暖帯の溪側に多く見られるシダであるが，本県においては僅かに西南部に分布するだけである。

(E) Subgen. *Cyclosorus* (Link) Morton テツホシダ亜属

[215] *Thelypteris acuminata* (HOULT.) MORTON

(=*Cyclosorus acuminatus* (HOULT.) NAKAI) ホシダ（田中，1871）H(e)D₁R₁

横浜，南区弘明寺（長谷川義人，1955. 11. 25 YCM）。

三浦：横須賀，相州秋谷（Y. YAMAMOTO, 1924. 12 TI）；阿部倉（小板橋八千代，1965. 12. 13 YCM）；平作（小板橋，1966. 6. 13 YCM）。

逗子，神武寺（S. HATTORI, 1922. 12 TI）；（Y. YAMAMOTO, 1924. 12 TI）；（I. FURUSAWA, 1938. 12 TI）；（大谷 茂，1949. 8. 23 YCM，外 1951・1956・1959 の3点 YCM）。

三崎，東京大学臨海実験所構内（M. HONDA, 1924. 10. 11 TI）。

鎌倉：鎌倉（榎山泰一，no. 474，1930. 9 TI）；（府川勝蔵，1934. 9. 23），天園（石渡 宏，

1960. 12. 18 YCM)。

江ノ島・横須賀(標本は1枚のみ)(?, 1880. 11. 24 TI)。

平塚市, 馬入(守矢淳一, 1952. 10. 25 YCM)。

大磯, 高麗山(守矢淳一1952. 10. 13)。

相模原, 淵野辺(逸見 操, 1961. 10. 29 YCM)。

山北, 洒水滝(遠藤将光, 1957. 10. 20 YCM); (逸見 操, 1958. 8. 24 YCM)。

丹沢, 白石沢(田代信二・飯田 和・西尾和子, 1958. 8. 20), ユーシン〜玄倉(大場秀章, no. 10924, 1962. 8. 24 TI)。

箱根, 湯本その他(箱根植物, 1913)。

小田原, 各地(小田原附近の羊歯植物目録, 1957. 6. 10)。

足柄下郡, 真鶴(T. NAKAI, 1930. 2. 28 TI)。

本種は暖帯に広く分布するシダで, 乾燥地半日向にもよく耐えるものである。上記標本産地に限らず本県内普通に見られる種である。

付記:

ホンダ属(*Cyclosorus* Link)は裂片基部の葉脈(小脈)の先が結合する点の特徴である。しかしヒメシダ属にも近似するので, ヒメシダ属に入れたり, また別属とする人もある。思うに現状の区別にはなお疑問点が多いので, はっきりするまでは区別しないで, ホンダは岩槻邦男博士のヒメシダ類の分類によってヒメシダ属に入れておくことにした。

Woodsia R. Br. イワデンダ属

[216] *Woodsia macrochlaena* METT ex KUHN コガネシダ(牧野, 1889) E(d)ErD₁R₃

大山: 大山〜ヤビツ峠(逸見 操, 1956. 8. 7 YCM), 二重滝(田代信二・飯田 和・西尾和子, 1957), 大山(村上司郎, 1960. 6. 26)。

丹沢: 中津溪谷(大谷 茂, 1935), 鳥屋林道伝道小屋(府川勝蔵, 1935. 8. 27), 相州玄倉(久内清孝, no. 2651, 1939. 9. 24 TI), 同(田代・飯田・西尾, 1957—西尾和子, 1957. 8. 1 YCM), 世附(大谷 茂, 1955), 蓑毛〜ヤビツ峠(倉田 悟, 1956), 同(遠藤将光, 1957. 8. 1 YCM), 西沢(田代・飯田・西尾, 1958. 8. 18), 箒沢(秋山 守, 1958. 8. 22), 玄倉川上流(西田 誠・栗田子郎・大場秀章, 1962. 8. 23)。

山北洒水ノ滝(遠藤将光, 1957)。

小田原: 相州風祭村(牧野富太郎, 1886. 10. 7 MAK. no. 12707), 同(箱根植物, 1913), 箱根風祭村(牧野富太郎, 1887. 7 TI)。

箱根: 塔ノ沢近傍(大久保三郎, 1890, B. M, T 5: 100—1891), 金時山(小田原シダ研究グループ, 1957. 8. 19)。

本種は暖帯の岩地, とくに石灰岩地を好むシダである。

このシダを日本で最初に採取したのは牧野富太郎先生で, それは小田原の風祭(Kazamatsuri)であって, 実に明治19年(1886)のことである。

昭和11年(1936)5月12日, 牧野先生から著者によこされた書信の全文をここにかかげて当時をしのぶ資料にする。

“*Woodsia* のコガネシダを始めて相州風祭で採りましたは私で、これがこの羊歯の日本に産することを知りし始めです。それは確か明治 19 年の秋でした。私が久しく箱根宿に滞在していた時分の時です。回顧すると古い時代です。当時風祭の道の側の崖に在ったのですが、今日は旧観が改まり、最早疾くそこに絶滅したでしょう。私はそこを通過する時、何時もその当時を思い出します。右の 19 年は丁度小涌谷の三河屋が出来た時で、一晚そこで泊ったことがあります。”

現在風祭では見られないが、いつごろ絶滅したかわからないが、1933 年発行の神奈川植物目録には風祭は報告されていない。

上記神奈川植物目録 (1933) に鎌倉の産地があげられているが、これは鎌倉の今泉山のことで、この今泉山入口の崖で採集したのは横浜植物会々員、原虎之助氏とのことであるが、いつごろのことかわからない。勿論今日鎌倉の今泉山では絶えて見ることもできない。

[217] *Woodsia macrochlaena* METT. ex KUHN

var. *glabrata* (NAKAI) NEMOTO ジョウシュウコガネ (中井, 1933) E(d)ErD₁R₃

丹沢山塊: 蓑毛～ヤビツ峠, 玄倉, 世附 (林 弥栄・外 3 氏, 1961)。

本種は小暮氏が 1932 年上野吉田村で採ったのが始めて、葉裏が無毛となった極端型である。

上記文献産地は林 弥栄・外 3 氏の丹沢山塊の植物調査報告に記録されているもので、伊藤 洋博士が同定をしているから問題はないと思うが、著者のところにある群馬県下に見られるような典型的のものを、丹沢地区でまだ見ていない。もともと単なる環境の変異であるのではなかろうか。

[218] *Woodsia manchuriensis* HOOKER フクロシダ (松村, 1884) E(d)ErD₁R₃

大山, 二重滝 (田代信二・飯田 和・西尾和子, 1957), 同 (守矢淳一, 1966. 7. 21)。

丹沢: 勘七沢 (大谷 茂, 1952 YCM), 丹沢 (村上司郎, 1953. 8. 17), 札掛 (倉田 悟, 1956), 西沢・用木沢・白石沢 (田代・飯田・西尾, 1958), 車沢 (田代・飯田・西尾, 1959. 8. 20), 山神峠 (大谷 茂, 1961. 8. 27 YCM), タライゴヤ沢 (大場秀章, no. 10818, 1962. 8. 22 TI)。

箱根, 金時山 (小田原シダ研究グループ, 1957. 8. 19), 双子山・芦ノ湯 (小田原附近の羊歯植物目録, 1957. 6. 10)。

本種は亜高山帯と温帯の岩に着生するシダで、本州、四国、九州 (稀) からアジア東北部と分布は広いものである。刈住 昇氏は逗子の浪子不動の碑の上の丘で (1950. 11. 11) フクロシダを見たと報じているが何かの間違いであろう。本種を三浦半島に期待するのはどう考えても無理である。

[219] *Woodsia polystichoides* EATON イワデンダ (田中, 1871) E(d)ErD₁R₃

大山, 下社 (田代信二・飯田 和・西尾和子, 1957), 大山 (村上司郎, 1960. 6. 26)。

丹沢: 焼山 (T. YAMAZAKI, 1942. 5. 9 TI), 丹沢 (村上司郎, 1953. 8. 17), ユーシン (秋山 守, 1954. 7. 25), 玄倉 (大谷 茂, 1955. 8. 11 YCM), 札掛 (倉田 悟, 1956), 中津溪谷 (逸見 操, 1956. 8.16 YCM; 同, 1957. 7. 31 YCM; 村上司郎, 1965. 8. 15 YCM), 宮ヶ瀬 (千葉周郎, 1953. 8. 12 YCM; 斎藤照一, 1957. 8. 5 YCM), 地藏平 (秋山 守, 1957.

10. 16), 西沢 (田代信二・飯田 和・西尾和子, 1958. 8. 18), 箒沢 (秋山 守, 1959. 11. 21), タライゴヤ沢 (西田 誠・栗田子郎・大場秀章, 1962. 8. 22)。

山北: 洒水ノ滝 (伊藤和貴, 1913, 箱根植物), 同 (遠藤将光, 1957. 10. 20 YCM), 山北 (伊藤 洋, 1930 TI), 同 (守矢淳一, 1950. 6. 25), 同 (M. TOGASHI, 1951. 6. 24 TI), 市間 (田代信二, 1958. 7. 13 YCM)。

箱根: 双子山 (採集者も採集年月日も記入がない, TI), 金時山 (小田原附近の羊歯植物目録, 1957. 6. 10)。

本種はおもに温帯から亜高山帯にかけて分布し, 岩に着生するシダである。

この種が相州山北で採取されたのは相当古い時代のもので, 佐々木舜一氏著の台湾総督府の「林業部腊葉館目録」(1930 発行) に牧野富太郎先生の採集になる相州山北のイワデンダが引用されている:

Woodsia polystichoides EATON Mt. Arisan (阿里山) Fauri 2188; Yamakita, Sagami (相模山北) Makino 2187。

三浦半島植物誌に逗子神武寺産のイワデンダをのせているのは, 明らかに誤りである。倉田 悟先生は, これはツルデンダの発育不良の株であると指摘したが, そのとおりであると思う。逗子にイワデンダはどう考えても期待できない。

(以下, 次号につづく)

Summary

I. Introduction

This report is continued from No. 15 (1969) of the Science Report. Three genera and fine subgenera are mentioned here as follows:-

Genus *Stegnogramma* BLUME

Genus *Thelypteris* SCHMIDEL

Subgenus *Phegopteris* (PRESL) CHING

Subgenus *Cyclogramma* (TAGAWA) K. IWATSU

Subgenus *Thelypteris*

Subgenus *Glaphyopteridopsis* (CHING) K. IWATSU

Subgenus *Cyclosorus* (LINK) MORTON

Genus *Woodsia* R. BROW.

This is the final report in the series on the Aspidiaceae of Kanagawa prefecture.

The distribution given here for each species is based on localities of the main specimens examined by the author, or on wild localities which were confirmed by the author or are quoted from reliable literature. Arrangements of families, genera and species and their botanical names followed "An Enumeration of the Japanese Pteridophytes" by T. NAMEGATA and S. KURATA. However, there are some new botanical names taken from recent literature. The reader is referred to the first report in this series, No. 12 (1966) of this magazine, regarding the life forms and reproductive forms of each species.

II. Important notes

(1) The species of the Cyclosorus group have a very close resemblance to the genus Thelypteris. The most important character of the Cyclosorus group is having areolas at the base of the pinnules.

Recently, Dr. K. IWATSUKI united Cyclosorus to the genus Thelypteris. There are still many questions about the classification of the Cyclosorus group. The author treats Cyclosorus in the genus Thelypteris till a solution on this matter is given.

(2) The type locality of *Thelypteris laxa* (FRANCH. et SAV.) CHING is Yokosuka, and the collector is P. L. Savatier.

(3) The first collector of *Woodsia macrochlaena* METT. was Dr. Tomitaro MAKINO, at Kazamatsuri, Odawara, Ashigara-shimo-gun, Kanagawa-pref. in 1886. It is now extinct at this locality.

(4) Yamakita, Ashigara-kami-gun as a locality of *Woodsia polystichoides* EATON is noted in "A Catalogue of Government Herbarium" (1930) as follows:-

Woodsia polystichoides EATON

Mt. Arisan (阿里山) Faurie 2188

Yamakita, Sagami (相模山北) Makino 2187

(5) The following species are known only from narrow limited areas

1. *Thelypteris esquirolii* (CHRIST) CHING var. *glabra* (CHRIST) K. IWATSUKI; Odawara, Mt. Hakone, Yugawara

2. *Thelypteris quelpaertensis* (CHRIST) CHING; Mt. Tanzawa

3. *Thelypteris bukoensis* (TAGAWA) CHING; Mt. Tanzawa

4. *Thelypteris phegopteris* (LINN.) SLOSSON ex RYDB.; Mt. Tanzawa, Mt. Hakone

5. *Woodsia macrochlaena* METT. ex KUHN; Mt. Ohyama, Mt. Tanzawa, Mt. Hakone, Yamakita, Odawara

6. *Woodsia manchuriensis* HOOKER; Mt. Ohyama, Mt. Tanzawa, Mt. Hakone

7. *Woodsia polystichoides* EATON; Mt. Ohyama, Mt. Tanzawa, Mt. Hakone, Yamakita

(to be continued)

引用文献

- 朝倉修一・飯田 和・田代信二・西尾和子. 1957. 小田原附近の羊歯植物目録: 3~6.
 (付記). 箱根シダ植物調査綜合一覽表: 調査日程. 早川上流 8. 16, 台岳(仙石原) 8. 17, 双子山 8. 18, 金時山 8. 19.
 出口長男. 1953. 多摩丘陵帷子川流域の植物: 19~21.
 出口長男. 1968. 横浜植物誌: 68.
 箱根植物調査会. 1913. 箱根植物目録, 箱根植物: 149~151.
 林 弥栄・小林義雄・小山芳太郎・大河原利江. 1961. 丹沢山塊の植物調査報告, 林業試験場研究報告 133: 46, 48.
 岩槻邦男. 1965. ヒメシダ類の分類, 植物分類・地理 21 (3~4): 103~106.
 倉田 悟. 1953. 三浦半島のシダ, 植物趣味 15 (1~2): 13.
 神奈川県博物調査会. 1933. 神奈川県植物目録: 111.
 刈住 昇. 1950. 葉山長者ヶ崎附近採集記, 野草 150, 17 (12): 4~6.
 増島弘行・石渡治一. 1950. 三浦半島植物誌: 23.
 守矢淳一. 1969. 平塚シダ目録: 記載番号 26, 43, 44, 45, 46, 47, 49, 51.
 行方沼東・倉田 悟. 1961. 日本シダ植物総目録, シダの採集と培養: 286, 305~306, 309~310, 316~321.



Fig. 1. *Thelypteris laxa*. Mitsuike, Tsurumi, Yokohama City, Prov. Sagami.
ヤウランダ (相模, 横浜市鶴見, 三ツ池, July 1937 大谷 茂撮影)。



Fig. 2. *Thelypteris phegopteris*. Mt. Kamifutago, Hakone, Prov. Sagami.
ミヤマワラビ (相模, 箱根, 上双子, Jul. 29, 1965 守矢淳一氏撮影)。

- 西田 誠・栗田子郎・大場秀章. 1964. シダ植物の分布と生態, 丹沢大山学術調査報告書 : 181.
- 大谷 茂. 1936. 再びコガネシダ *Woodsia japonica* MAKINO について, 植物趣味 5 (2): 10—11.
- 大谷 茂. 1957. 三浦半島羊歯植物への寄与 (1), 横須賀市博物館研究報告 2: 6.
- 大谷 茂. 1958. 三浦半島羊歯植物への寄与 (2), 横須賀市博物館研究報告 3: 22.
- 大谷 茂. 1965. 最新府県別日本シダ植物略目録 (神奈川県), 日本シダの会々報 75: 4~5.
- 佐々木舜一. 1930. 林業部腊葉館目録 (A Catalogue of the Government Herbarium), 台湾総督府: 44.
- 帝国女子医学薬学専門学校薬学科第2回卒業生一同. 1932. 武蔵登戸附近植物目録: 62.
- 田代信二・飯田 和・西尾和子. 1958. 西丹沢シダ目録第1輯: 記載番号. 13, 32~36, 44~46.
- A. Franchet and Lud. Savatier. 1879: Enumeratio Plantarum Japonicarum 2: 237 (no. 2429).